

近代化を問う映画 八森より発信

ヌーベルf

女性読者がつくる生活ページです。

ヌーベルf編集部

☎018-864-7891
☎018-864-7894

ヌーベルfのfは、
・female(女性)
・feeling(意見)
・freedom(自由)
・friendly(友情)
などの頭文字から
なったもの。

八森町と白山山地进行を舞台に撮影された記録映画『白神の夢』(仮題)プロデューサー山下勉、監督小池征人が今夏の上映を目指して撮影期間に入っている。編集期間は二〇〇一年六月から二〇〇二年十二月までの一年半に亘り、滞在延べ日数約一〇〇日を要した。

た暮らしの知恵などの継承の機会は失われた。農業乱用、資源乱獲、経済発展から取り残された地域の活性化策としての青秋林道建設問題(欲に目が眩んだ政治家の見事な結託)は、如何に人間が自然に対して傲慢になり、節度と感謝の心を忘れつつあったかという証左でもある。

何故山下プロデューサーは八森で映画を作ろうと思ったのか。話は五年前に遡る。平成十年度八森町観光総合計画「八森町一〇〇年構想」にコンサルタントとして参画した山下氏は、この会議を通じて地元民の声を聴き、八森の自然の独自性に感

世界と同様八森も様々な問題と矛盾を抱えているが、集落或いは自然の再生に向けて動き出した地元民の存在は大いなる救いである。近代化社会に対する静かなアンチテーゼとしての映画を作り、八森から世界へ向けて問題提起する——これが山下氏の狙いではないか。

目し、近代化社会の歪みが典型的に現れた地である事に着眼した。
八森の地形は小入川、真瀬川、泊川という三つの流域により構成されるが、それぞれ町固有の単独流域であり、これは我々の営みがそのまま自分自身に跳ね返ってくる事を意味する。また日本列島で最初に隆起した場所が八森あたりだという畢竟、自然と人間の時間と記憶が深く堆積された地であると言えるだろう。縄文の昔から豊かな白神の恵みに依って命脈を保ってきた我々であるが、端正な貌をして現れた近代化と文明の波が押し寄せた戦後、様相は一変した。

工業国へと変貌を遂げる戦後の日本社会は、特に都市部で多くの労働力が必要とされた。若者流出による深刻な人手不足は農林漁業や集落の衰退を招き、伝統行事、祭り、文化、先祖代々培ってきた



▶ 奈良 聡子さん

工業国へと変貌を遂げる戦後の日本社会は、特に都市部で多くの労働力が必要とされた。若者流出による深刻な人手不足は農林漁業や集落の衰退を招き、伝統行事、祭り、文化、先祖代々培ってきた

「水俣の甘夏」や「免田楽 獄中の生」などで有名な小池氏は、「白神は思索の山である」と洞察し、決して多数派や権力に与しない、感性鋭敏で信頼に足る記録映画監督

(地球村/奈良聡子)